伊藤　玲子……○行財政改革の推進について○教育行政の諸問題について
髙橋　浩司……○市民の要望を実現する為に行政として何をすべきか　その２（広聴活動について、オンブズマン制度について、すぐやる課について、行政評価について、マルチ職員育成について）
岡田　和則……○大船のまちづくり

一般質問

２月定例会では３名の議員が一般質問を行いました。一般質問は、現在市が抱えている重要な課題について市長などにただすものです。

詳しくは６月上旬に発行予定の本会議録を図書館等でご覧ください。また、インターネットでも本会議録がご覧いただけますので、ご利用ください。

行財政改革と教育行政の諸問題

伊藤玲子　議員

《行財政改革について》

質問…国家公務員や地方公共団体の職員が退職する日に、基本給を一号給昇給させている特別昇給が十四年度でいくらになるのか聞きたい。

助役…対象者は四十名で、総額約九百六十万円、一人当たり平均約二十四万円になる。

質問…財政難の折、特別昇給は即刻廃止すべきと考える。遅くとも来年度中に廃止を約束していただきたいがどうか。

市長…できるだけ早く見直しを検討していきたい。

質問…し尿収集委託料が平成十年から一億四千八百万円の過払いがあった理由を聞きたい。

部長…事業者と本市との間で、収集に必要な車両台数の認識に違いがあった。

質問…本市の見積もりでは、業務遂行に車両二台が必要としていたが、事業者は企業努力により一台で業務を行っていた。このことを部内でチェックしていなかったため、何年も二台と見積もっていたということだ。市の見積もりの甘さ、コスト意識の欠如、現場の実態を見ていないことなどが原因だ。企業が一台でできるならば、市も業務に必要な台数を一台として処理すべきだ。

部長…契約のあり方の見直しについては、入札も見通しながら現在検討している。

《教育行政の諸問題について》

質問…青少年犯罪の増加について、わが国の教育をめぐる問題は学力の低下のみならず、青少年の犯罪の増加も深刻である。警察に逮捕された青少年十四歳から二十歳の人数は十四万千七百二十五人で、成人の約八・四倍になり、二年連続の増加だ。十三歳以下の触法少年の凶悪犯も増加している。この現象を教育長はどう考えるか。

教育長…大変憂慮すべき事態と思っている。

質問…さまざまな要因があると思うが、第一に戦後教育にあると思う。人格形成の最も大事な小中学校で規律・規範を教えず、道徳の授業を否定し、権利の強調等々の結果と言っても過言ではないと思うが。

教育長…社会性、公共性に対する意識の薄れ、家庭や地域の人間関係の希薄化等々複合的に絡まっていることも原因と考える。

大船のまちづくり

岡田和則　議員

質問…玉縄や大船地域の保育園の待機児童対策を聞きたい。

部長…公立・私立の保育所の施設整備や無認可保育園の認可化を計画的に進め、待機児童の解消を図っていく。

質問…昌運工作所跡地に建設が予定されているホームセンターの進ちょく状況を聞きたい。

部長…店舗階数が三階から二階に、駐車場台数が約千八百三十台から約千五百三十台に縮小された。事業者は課題の交通問題等の検討を行っている。

質問…大船工業技術高校跡地の活用方法についてはどうか。

部長…公共・公益性の高い土地利用を図るよう県へ要望している。県には事業者からの相談があるようだが、公表する段階ではないとのことだ。

質問…山崎の下水処理施設の上部利用についてはどうか。

部長…利用計画は今後市民の意向調査等を実施するとともに、国・県など関係機関との協議を行い策定していく。

質問…大船駅西口駅前の人車分離、バスターミナルの集積、交通混雑の解消など、今まで以上に突っ込んだ検討と対策が必要だが、どう考えるか。

部長…大船駅西口駅前の都市基盤整備は早い時期にしなければならない。当面は短期的方策に特化したものになる。

質問…短期的方策の大きな柱を答えていただきたい。

部長…エレベーターの設置や歩道整備に取り組んでいく。

質問…大船駅西口駅前駐輪対策はどうか。

部長…実現に難しい状況もあるが、都市整備部と協調して取り組んでいる。

質問…芸術館通りの放置自転車対策はどうか。

部長…駅に近い公有地の駐輪場整備に向け調整している。

質問…安全・安心のまちづくりについてどう考えるか。

部長…行政・市民・警察が三位一体となって犯罪のない地域社会を目指して、防犯指導あるいは安全パトロール等に取り組んでいく。

質問…大船地域の広域避難場所として鎌倉女子大はどうか。

部長…平成十六年四月一日をもって指定する予定だ。

質問…山崎地区屋内温水プールの取り組み状況はどうか。

部長…平成十七年二月の供用開始を予定している。

総員挙手！
昨年８月に教育委員会の主催で、本会議場を利用して「第３回かまくら子ども議会」が開催されました。

市民要望実現に向け行政は何をすべきか Vol.2

髙橋浩司　議員

《市政モニターの提言は市政に反映されているか》

質問…第二十九期の提言に、既成道路でも状態の悪い道路は早期の改良が必要とあった。これに対して、市内三百五十カ所の改修計画を作成し工事を進めてきた。平成十五年度には完了の予定と回答しているが、本年度ですべて完了する見込みが立っているのか。

部長…今年度で完了する見込みとなっている。

質問…平成八年に神奈川県福祉の街づくり条例、十一年に交通バリアフリー法が施行され追加整備を行うと回答したが、改修計画を新たにつくったのか。

部長…現状を調査して、今後事業化を図っていきたい。

質問…施工と調査を並行して進め、今年度で工事が完了次第、引き続き新たな改修に取り掛かるのが提言を受けた行政の姿勢と思うが。

部長…できるだけ早く具体的な調査に取り組んでいきたい。

《町内会長方の意見は市政に反映されているか》

質問…ふれあい地域懇談会での意見におおかた回答しているが、回答できていないものもある。その中の一つで、防災無線のバックアップに鎌倉エフエムを利用しては、との意見に対し、既に取り組んでいることを伝え、今後も難聴地域の解消を約束しているが、その後の取り組みを聞きたい。

部長…平成十四年十二月に出力をそれまでの十ワットから倍の二十ワットにした。また今後、地域によって必要な方策を鎌倉エフエムと協議したい。

《オンブズマン制度制定を！》

質問…愛知県西尾市の行政評価委員会は、行政評価とオンブズマン制度の二つの機能を持つ。このように第三者機関による行政監視と苦情救済を行うべきと思うが、どうか。

部長…他市の状況も調査し、外部評価を取り入れていきたい。

《すぐやる課の設置を！》

質問…すぐやる課は、一九六九年に千葉県松戸市で当時の松本清市長の発案で始まった。市民はこういうことを求めていると思うがどうか。

部長…必要性を十分感じているが二点課題がある。一点目は行政と市民との役割分担を明確にすること、二点目は現業組織の業務分担の見直しだ。

議決した陳情

【採択した陳情】

◇ＪＲ北鎌倉駅北口新設についての陳情…総員賛成

陳情の要旨は、北鎌倉駅周辺及び同駅構内の通行安全確保の観点から、同駅ホーム北側に改札口の新設を求めるものです。

◇鎌倉芸術館周辺地区まちづくりの運営と鎌倉芸術館前広場についての陳情…多数賛成

陳情の要旨は、市民参加で取り組んできた鎌倉芸術館周辺地区まちづくり協議会の計画をほごにせず、市民を裏切ることのないまちづくりの運営を求めるとともに、芸術館前広場を確保してほしいというものです。

【不採択とした陳情】

◇二階堂緑苑台のグループホームについての陳情…少数賛成

陳情の要旨は、二階堂緑苑台地区に計画されている痴ほう性高齢者のグループホームの設置について、地区住民の意見を尊重した入居定員の決定及び入居者の散策や園芸活動ができる庭の設置を市が事業者に指導すべきこと、事業者の指定を行う県に意見を明示すべきことを議会として表明し、しかるべき措置をとるよう求めるものです。

請願（陳情）の様式

①

○○○○についての請願

紹介議員
○○○○○○　㊞
※紹介議員は１名以上必要です

②

○○○○についての請願（陳情）

１　請願（陳情）の要旨
○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○
２　請願（陳情）の理由
○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○
平成　年　月　日
提出者　住所
氏名　㊞
鎌倉市議会議長　白倉　重治　様

※請願には、①と②の様式が必要です。

陳情には、紹介議員（①の様式）は必要ありません。

請願・陳情の提出について

本市議会では、各定例会での請願・陳情の提出に、受付期限を設けています。

６月定例会の受付期限
：６月１日（火）

受付期限内に提出されたものは、６月定例会で審査されます。受付期限を過ぎて提出されたものは、原則として次回定例会での審査となります。

詳しくは、議会事務局議事担当までご相談ください。